

OGINO NEWS

『機能性塗料』特集

荻野ニュース平成26年冬号

編集発行：荻野化成株式会社

「さすがプロ」と言わせる！様々な機能性塗料で提案営業を！

特集！
機能性塗料

お客様が塗替えを考える時、様々なキーワードが出て来ます。「汚れがひどいから塗り替えようかと思って…」とか「カビがひどくて、何かいい塗料はないかな？」など、塗替えの動機となるキーワードは沢山あります。このような塗膜の劣化が原因となる動機もあれば、「今の質感は気に入っているから、質感はこのままで…」という要望や、「光触媒ってすごいって聞いたんだけど、高いのかな？」などという現状維持や機能アップが塗替えの動機となる場合もあります。汎用の外装塗料は多機能型が多く、様々な劣化要因にそれなりに対応しますが、「特に〇〇に関して何とかしてほしい！」という場合は、その〇〇に特化した塗料を選定する必要が出て来ます。今回は塗替えの動機となるいくつかのキーワードに焦点をあてて、それぞれに特化した塗料をご紹介します。ぜひ皆様のお仕事にお役立て下さい。

油まみれの床、水浸しの床、普通なら施工できないけど…！

『床塗料FOP油床』 『床塗料FWP濡れ床』

（株）染めQ
テクノロジー

SOMAY-Q

工場や厨房床などの塗替えで一番厄介なのは油と水です。油面はシンナーなどで脱脂してから、油面プライマーを塗って対応していましたが、濡れている床は水分を乾燥させてから塗るか、湿潤面用のプライマーを使うか、等の方法をとっていたのではないのでしょうか。その上、発注側から「明後日には稼働させたい。」とか「明日の昼からは使いたい。」という厳しい条件が付けられて、ぎりぎりのスケジュールで仕事をされた経験をお持ちかと思えます。ここで紹介している（株）染めQの『床塗料』2種類はそんな悩みを解決する驚きの商品です。すでに大手自動車メーカーなどで採用実績を持つこの塗料は、下塗り無しで1回塗装です。当然プライマーを塗って乾燥させる時間が要なくなり、厳しい時間制限にも対応可能という驚くべき商品なのです。従来の床塗料の概念を覆すこれらのアイテムですが、施工が簡単のため誰でも塗れてしまうのが欠点と言えば欠点でしょうか。工場や厨房床のお仕事をされる方、まずは資料ご請求の上でお試し下さい。



お気に入りの質感を活かして塗り替えるなら！

『ジョリパット改修専用塗材』 『ジョリパットフレッシュ』

AICA アイカ工業(株)

乾式工法が全盛の中、敢えて自宅の壁を湿式で施工しているオーナーにはこだわりがあると考えられます。そんな方々には現状の塗膜が持つ「意匠」や「質感」はとても大切なものに違いありません。「あ、これジョリパットだな。」という外壁を皆さんもご存じだと思いますが、そんな建物に提案するなら、この『ジョリパットフレッシュJQ-800』です。「ジョリパットの外壁は専用改修塗材で塗り替えましょう！」こだわりのオーナーに、ぜひご提案下さい。遮熱タイプの『ジョリパットフレッシュクールJQ-810』もラインナップしています。



落書き、貼紙…町的美観を損なう要因を徹底排除！

『ケセルクリーンZ』 『ケセルクリーン』

関西ペイント(株)

ALESCO

最近、街の景観を損なう落書きや貼紙などに対して、条例でこれを取り締まれる様にする自治体が多くなっています。横浜市でも6月に条例が可決され、2015年4月より施行されます。今回ご紹介する落書き貼紙防止塗料は、関西ペイントの『ケセルクリーンZ』です。同社には『ザクロン』という貼紙防止機能を持つ商品がありますが、このビーズ入りの『ザクロンパウダーF』を下に塗る事で、落書き・貼紙防止兼用機能を発揮します。施工する事でラッカースプレーなどもはじいてしまえますが、それでも落書きされたら、乾燥後にガムテープやラッカーシンナーで除去して下さい。注意点は上塗のクリアーが特殊シリコンのため、施工後のタッチアップや塗継ぎが制限される事です。鉄面・コンクリート面とも施工可能。『ケセルクリーン』は落書きにのみ対応可です。



「カビ」に特化したスペックを組む！

次世代型水系壁用防カビ塗料『アルバイオ』

水谷ペイント(株)



カビはその種類も多く、見た目も不快であり、住宅内部に発生した場合は健康被害を引き起こす可能性を持っている事から、塗替えの要因としてよく挙げられるキーワードです。しかし、相談を受けた時に商品を選択するのが難しいと感じられるのではないのでしょうか。そんな時、思い出して頂きたいのが、この『アルバイオ』です。『アルバイオ』はヨーロッパで長年使用され続け、品質的に非常に評価の高い『アルポフィックス』を、日本の市場に合致した品質を目的として国産化した製品です。しかも『アルポフィックス』の最大の短所であったコストの問題を解決し、「安価でありながら高い防カビ性能を有する」最新型の水系防カビ塗料として市場に登場しました。主要なターゲットとなるのは食品工場内部ですが、外部耐候性もありますので、外部のモルタルコンクリート面や窯業系サイディングボード、またそれらに塗られている旧塗膜の塗替えに使用することが出来ます。ぜひお試し頂きたい商品です。

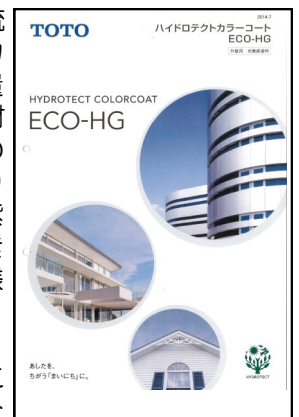


捲土重来！光触媒カラーコート

外装用光触媒塗料『ハイドロテクトカラーコートECO-HG』

TOTOエクセラ(株)

画期的な光触媒カラーコートとして『ハイドロテクト』が発売されてから15年の月日が流れようとしています。超親水性、活性酸素による有機物分解作用は有機塗料の弱点であるカビや汚れに対して絶大な効果を発揮するものとして注目されました。夢の塗料として出荷量もどんどん伸びてゆかか見えましたが、2つの問題で伸び悩む事となりました。1つ目は材料コストの高さ。もう一つは販売する側のオーバートークと、発注する側の過度の期待とのギャップです。すばらしい機能を発揮する『ハイドロテクト』ですが、決して万能ではありません。例えば有機物は分解出来ても錆跡のような無機の汚れは分解出来ません。また、紫外線量が不足する部位や、建物の形状などから汚れが集中する部分などでは機能が発揮できない、または追いつかないという事になってきます。本来これらの事をしっかり説明する様にマニュアルにも謳っていましたが、しっかりとされないうままにクレームが増えてしまったのは大変残念な事です。今回新しく登場した『ハイドロテクトカラーコートECO-HG』は、かつてラインナップされていたカラーコート同様、3工程で仕上げる光触媒塗料です。これとともに今まで必須だった研修を経ての認定施工店制度無しでも、扱う事が出来る様になりました。「なぜ今、光触媒の記事なのか？」疑問に思われるかも知れませんが、未だ消費者の中にはブランド化された光触媒塗料に対するニーズが潜在しています。それを掘り起こすのに、この『ハイドロテクトカラーコートECO-HG』がきっと役立つに違いありません。万能と言う幻想を捨てて従来の塗料の常識に戻る時に、いえ、戻らからこそ、光触媒塗料の価値が見えてくるのではないのでしょうか。



可愛いワンコのために床を安全に！

『AJパーフェクトコート』

関西ペイント(株)



今、日本には1000万頭以上の犬が暮らしています。愛犬・愛猫を「家族の一員」として愛する事は、実に自然な事になっています。大型、小型を問わず、室内飼育が増えてきた事によって、「愛犬のための室内空間作り」というニーズが発生して来ました。愛犬のする事ですからフローリングのキズ位は我慢できるかもしれませんが、その愛犬が滑って怪我でもしたら大変な事です。聞く所によると大型犬がフローリングの上で滑って、股関節や腰骨を痛めてしまうというケースが報告されている様です。そこで滑らない床、加えて傷つきにくい床にするために開発されたのが、この『AJパーフェクトコート』です。特殊技術による「ガラスの被膜」が、床・壁・家具の表面をコーティングして、床の滑りを防ぎ、キズ・汚れから守ります。施工は簡単で、特別なメンテナンスも不要。効果は長期間持続します。ひょっとするとこのアイテムを上手に活用する事で、塗装の仕事を外装から内装へと広げる事が出来るかも知れません。外壁塗替え中に、室内で「ワン！」(あるいは「ニャア！」でも…)と聞こえたら、この商品をご提案されてみてはいかがでしょうか。



お問い合わせは・・・

荻野化成株式会社



横須賀本社 電話 046-834-1611
青葉営業所 電話 045-937-5505
茨城営業所 電話 029-879-7906

横浜支店 電話 045-830-5871
東京営業所 電話 03-5480-1666
柏営業所 電話 04-7197-7351